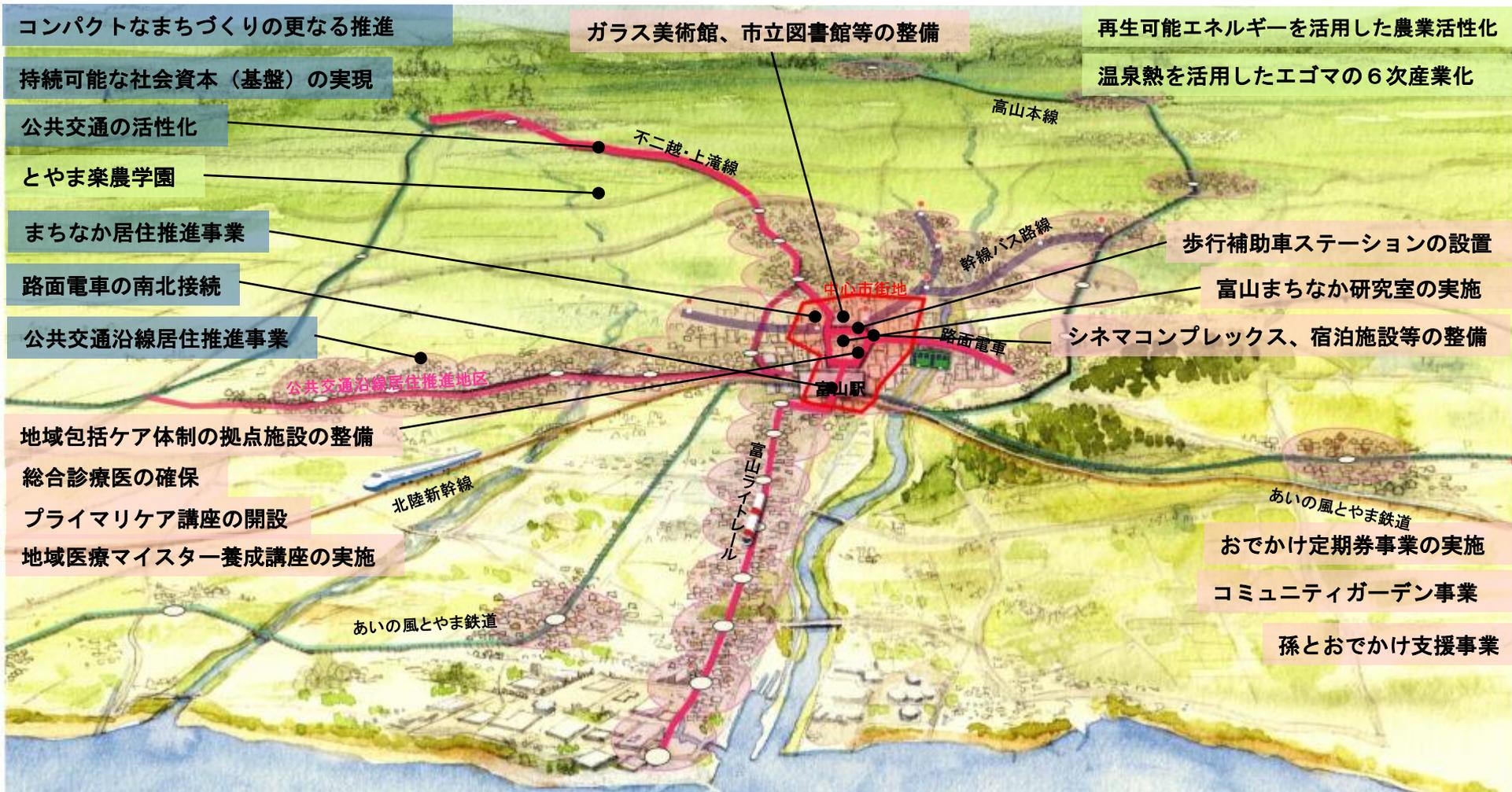


# 【タイトル】コンパクトシティ政策を中心とした包括的アプローチによる持続可能な都市・地域活性化

## 地域活性化モデルケース(都市・地域)としての位置づけ

鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を誘導・集積させる**コンパクトシティ政策を基本に**、医療・福祉、農業、産業、環境、コミュニティ等の持続可能性を追求し、**分野横断的な連携施策を展開することで**、人口減少・超高齢社会においても、質の高い生活を享受できる**持続可能な都市を形成する**。さらに、取り組みの効果を的確に把握・評価・見える化するすることで、国内さらには国際的にも波及効果の高い**地方都市における地域活性化のモデルケース**を提示する。



コンパクトなまちづくりの更なる推進

ガラス美術館、市立図書館等の整備

再生可能エネルギーを活用した農業活性化

持続可能な社会資本(基盤)の実現

温泉熱を活用したエゴマの6次産業化

公共交通の活性化

とやま楽農学園

まちなか居住推進事業

路面電車の南北接続

公共交通沿線居住推進事業

公共交通沿線居住推進地区

地域包括ケア体制の拠点施設の整備

総合診療医の確保

プライマリケア講座の開設

地域医療マイスター養成講座の実施

北陸新幹線

あいの風とやま鉄道

不二越・上滝線

高山本線

幹線バス路線

路面電車

富山ライトレール

歩行補助車ステーションの設置

富山まちなか研究室の実施

シネマコンプレックス、宿泊施設等の整備

あいの風とやま鉄道

おでかけ定期券事業の実施

コミュニティガーデン事業

孫とおでかけ支援事業